

手話言語の国際デーとは…

手話言語の国際デー

(全日本ろうあ連盟ホームページより抜粋)
 毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める

手段を講じることを促進することとされています。

また、9月23日は1951年に世界ろう連盟(WFD)が設立された日です。

全日本ろうあ連盟としても今後、国際デーを記念するイベントを開催していくとともに全国各地でも「手話言語の国際デー」の記念イベントが増えていく事を期待しています。

ブルーライトとは…

ブルーライト

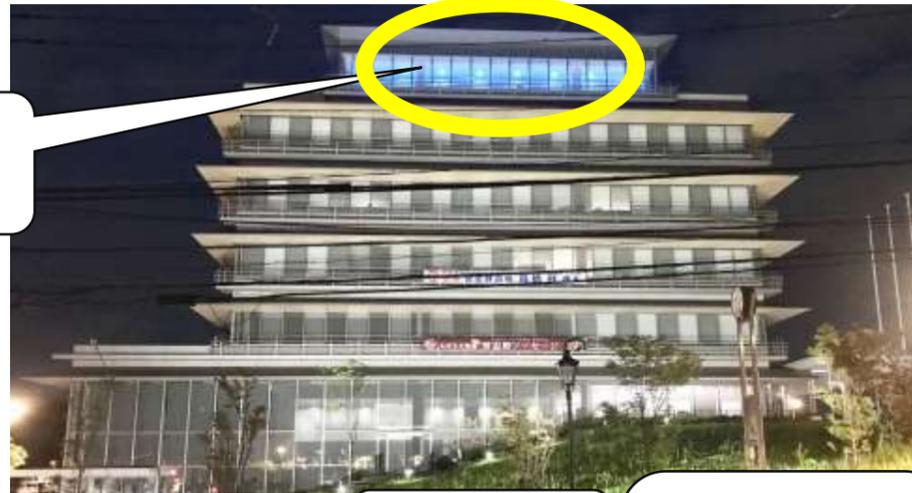
(全日本ろうあ連盟ホームページより抜粋)
 世界ろう連盟(World Federation of the Deaf: WFD)は9月23日に手話言語に関するイベントを2018年から開催してきました。このイベントに加えて2022年から、国連や世界ろう連盟のロゴの色で、「世界平和」を表す青色(#007EC4※)を世界各地で

ライトアップを呼びかけました。
 このイベントやブルーライトアップは世界、市民、地域社会がSNSでつながり、各国の手話言語を尊重しあい、世界中のきこえない・きこえにくい人と聞こえる人がひとつになる瞬間です。
 ※#007EC4とは色彩の情報で“円熟した青色”を意味する。

地域レベルでもブルーライトが！

習志野市

市役所最上階に青い光！
 まさに天空の城の如く…



流山市

流山おおたかの森駅の階段で流山市デフ協会と市内サークルがブルーライトアップデジタルサイネージへの掲示
 ・流山おおたかの森駅・南流山駅・運河駅
 流山市生涯学習センター



強い団結力のブルー！
 多くが青のもとへ

市川市

これは青の雪が降り注ぐ…
 まさにイルミネーションもの！

日は手話言語の国際デーで

↑
 流れる文字表示



庁舎入口門柱2本

我孫子市

青い紙を紙コップに巻いて市役所の障害福祉課受付におかれる力作！



そこにあたるだけで青い光を感じる！

今回のブルーライトについて当協会としてはセンター、他に市の手話言語条例を策定したいくつかの市などにいくつかの工夫をこらしたら青い光

を放ちました。当協会としては、次回(来年)は千葉の各観光名所にブルーライトアップができるように進めていきたい。

来年の9月23日にはもっと多くのブルーライトを！

浦安市

垂れ幕のような電光掲示板で、いつでも市民の目につくような配慮



松戸市

福祉課内および受付、健康福祉会館受付、図書館本館内の展示スペースに青ランプ型のもものが置かれる



まさに手話のお知らせランプ！